

転換語

解り通しと文法

1. 反復と対比

複数の段落で

身体・性別・自己表現についての描写があることを認識

2. ティスコースマーカーの役割

(ex) But somebody has slipped

No, she thinks 転換語

Now in the kitchen

などのマーカーは

場面転換・心情変化

を示す。

内面の変化を段階的に表す。

その変遷カテゴリー

3. 具体例・エピソード→抽象的テーマ

段落の主旨をまとめる

大枠を見ながら、つなげて

テーマを導く

問題を解くときも

俯瞰して意図を一緒に読んで読む。

まとめるべきは

① その段落の主旨

② その段落の論理の流れ

③ その段落の全体における役割

物語では

筆者の暗喩的テーマを読み取らないといけない

だから

具体的エピソードはなぜそこにあるのか
(論理の流れ・役割)

何を伝えたいのか(役割)

①. A body that can throw

a baseball the way her father
has shown her

・ A body ... 具→相

身体の投げ方の複雑さと

自分が男っぽい

→ 背景提示と基盤作り

②. But somebody has slipped

・ what is unthinkable

・ in this place ...

→ 具体例から一般化

・ they have made her a boy

・ No she thinks they have allowed
her to be a boy

性の固定観念とその逸脱
違和感 → 問題提起

③. there is this stranger

・ she is, but also she isn't

→ 対比

・ this feeling of not having words
to explain what my body is

One had brawn ... vs I had brawn a
swirl

如く自分への認識・感性

自己が良く分からない → 問いの具現

→ ここで抽象・対比
を用いる。

と 必死に考える必要がある

① 内容説明：「どういうことか、説明せよ」

- 共通の手法
- ①文型を押さえる：主語と目的語
 - ②指示対象を具体化する
 - ③傍線部以外に着目：主語やディスコースマーカー
 - ④分節化する
 - ⑤辞書的意味 (literal) と文脈的意味 (contextual) の両方を踏まえて説明する

①～④はすべての問題で行うべき前提作業である。そして④の分節化を終えて要素分解が出来たら、そのエレメントをそれぞれ説明していく。

説明の際は、辞書的な意味を押さえそのニュアンスを出しつつ、その文章の文脈での意味を具体的に説明する。

例えば「救済」という言葉であれば、単に「助ける」よりも重々しい言葉であるので、そのニュアンスを醸し出しつつ文脈を踏まえて、「苦悩から解放すること」などと説明する。具体的な手順については、大きく分けて2通りある。

(1) 抽象語説明

例えば、説明すべき語については、そのヒントを以下の様にして本文に探してみよう。

- ① 類義語を探す
- ② 対比で考える
- ③ 平衡移動する

- ① 本文の類義語をマークして言い換えられる言葉がないか探してみる。
- ② 直接説明しがたい言葉は、その反義語を考えて見る。「直観」など。
- ③ 言葉を少しだけ言い換える。「孤独」→「1人で…する」
- ④ 頻出語彙は覚えておくこと。「逆説」「虚構」「媒体」「装置」など。

※ 傍線部の言葉はそのまま使いたくないところだが、あまり神経質にならないこと。その意味が具体化できていれば、その語を使ってもよい。例えば「本能」という言葉を言い換えられなければ、「…という本能」などと具体化できていればよいこともある。

(2) 比喩説明

(1)の手法に加えて、「何をどう喩えているのか」ということを意識する必要がある。具体的には、1) 譬えられている対象と2) 共通点を説明する。例えば、「君の目は地中海の海のように美しい」という比喩表現であれば、譬えられているのは「君の目」であり、共通点は「どちらも青くて美しい」ということである。

② 理由説明：「なぜそういえるのか、説明せよ」

傍線部は、「前提 (premise) → ????? → 結論 (conclusion)」の「?????」が省略された形で書かれているので、「?????」を答案に書く。その際、「?????」に自分の答えを代入して意味が通るかチェックをする。また、前提と結論は省略して書かないと答案が冗長になり、解答欄に収まらなくなる。2000年度第1問の設問(三)を参照のこと(個人の生命の尊重…破滅を招く)。

③ 要旨説明：「本文全体の趣旨を踏まえた上で」

東大5番型のタイプ。結果として、答案が本文全体の要約になることが多い。また、これまでの問で書いた記述答案を要約して生かせることがほとんどである。「論旨を踏まえて」とは、「文章全体の論理構造を明示せよ」ということ。論理構造としては、以下のパターンは最低押さえておきたい。

- ①理由の連鎖
- ②対比
- ③アナロジー